

## 令和2年度 第1回 遊佐町総合教育会議 議事録

会議日時 令和2年7月27日（月曜日） 午後2時25分  
会議場所 遊佐町役場 議事所  
開会時刻 午後2時25分  
閉会時刻 午後3時25分  
出席者 ・ 構成員 遊佐町長 時田博機  
(教育委員会) 教育長 那須栄一、第一教育長職務代理者 渡邊宗谷、  
第二教育長職務代理者 石川茂稔、委員 石山幸子、  
委員 齊藤敦子  
・ 説明調整員 総務課長 堀修、企画課長 高橋務  
・ 事務局 教育課長 高橋善之、教育課長補佐兼総務学事係長 鳥海広行、  
同課長補佐兼文化係長 阿部秀雄、  
同課長補佐兼社会教育係長 舘内ひろみ、  
指導主事兼学校指導係長 佐藤健太郎

傍聴人 なし

協議事項 (1) 小中学校の新型コロナウイルスに対する対応について  
(2) 遊佐町立小学校新校開校準備委員会での協議事項について  
(3) 遊佐高校支援の会に関する件について  
(4) 令和元年度教育委員会事務点検・評価報告書について  
(5) その他

### 協議内容の概要

教育課長 ただいまより令和2年度第1回遊佐町総合教育会議を開催いたします。  
会議終了時刻を午後3時30分とさせていただきます。  
初めに時田町長よりご挨拶をお願いします。

町長 皆さんこんにちは。令和2年度の第1回遊佐町総合教育会議の開催にあたり、お忙しい中、ご参集賜りまして、教育委員の皆様は特に、新型コロナウイルスの関連で、子ども達の学校での在り方、そして中ごとの学校・学級・クラス等の生活力を高めるという形で、大変な苦労のスタートではなかったかと思いますが、遊佐町では幸いにも、皆様のご配慮によりまして、遊佐地区の全部の卒業式も、まずは通常通り開催できたということ、そして父母の皆さんが参加されて見送りができたということ。大変直接私に、「良かった」という卒業生のお父さんお母さんの声が届いていましたので、まずもって御礼を申し上げるところであります。

今日はウィルス対策の関連もありますが、遊佐町も、これまでに13回の新型コロナウイルス感染症対策会議を開催しておりました。明日あたり、また第14回目も開催される予定と伺っておりますので、皆さんからまずは、今日の総合教育会議の有意義な会になること、そして議会では実は、令和5年4月1日から、新遊佐小学校である「遊佐小学校」という名前と、現在の遊佐小学校に学校の位置を決めるという条例が可決されましたので、それらについても、皆さんからこれまでご苦勞したと思います。ただ、ちょうど私は、平成の時代に、「新中学校」のスタートをPTA会員として行動してきましたが、あれから見れば、まだまだ時間は十分あるんだというかたち

で、そんな慌てなくていいですから、しっかりと準備を進めて戴ければありがたいなと思います。大変ご苦勞様でございます。よろしくお願い致します。

教育課長 ありがとうございます。協議に入る前に、名簿の説明をさせていただきます。会議次第の2ページ目をご覧ください。本会議の構成員は、法律の規定どおり、町長と教育委員となっております。要綱を4ページ目に入れておりますが、首長部局との連携も考慮しまして、第4条第2項に規定する説明調整員として総務課長、企画課長にも出席をお願いしております。

それでは、協議に進ませさせていただきます。座長につきましては、本要綱第3条「会議は、町長が招集し、その座長となる」とありますので、町長にお願いします。

町長 それでは、会議次第にあります、(1)小中学校の新型コロナウイルスに対する対応について、を議題とします。事務局より説明をお願いします。

事務局 <資料1に基づき説明>

町長 (1)の案件について只今、説明いただきました。いわゆる給食の件、そして保健の件と、それから就学支援等の3つの課題について事務局から説明ありました。現在、就学援助については問い合わせ無しということで。下段では、GIGAスクール構想について、9月補正で1人1台端末を実現したいと進めていくと。あとは夏休みと、新型コロナウイルス感染症の中での短縮等の案件が出されました。皆様からご理解いただけましたでしょうか。

教育長 1点だけ訂正です。資料1の5月8日の分。「プールを実施しない」「プールを実施できない」を「水泳の授業を実施しない」という風に直してください。

町長 他によろしいでしょうか。結果、先生方は大変な苦勞をされて…、これで了解いただければ、次に進んでもよろしいでしょうか。

出席者 (「なし」の声あり)

町長 それでは、これをもって質疑を終了いたします。  
続きまして、(2)遊佐町立小学校新校開校準備委員会での協議事項について、を議題とします。事務局より説明をお願いします。

事務局 <資料2に基づき説明>

町長 (2)の案件について説明いただきました。新校開校準備委員会でも、各部会等でも協議案が示されましたが、まずは、教育委員の皆さんには、統合後の校舎の在り方については、たぶん、企画の方で今、ちょっとたたき台を作ろうとしていますので。おおよそ、その結果の上から、説明をお願いします。

企画課長 企画課より、たたき台について説明。

町長 はい。ありがとうございます。会議ですから、たたき台はしっかり企画を中心に、課内で作ってから、それから町民の意見を頂いていこうというのが、いわゆる跡地の利用、新校の開校にあたっては、やっぱり、実はブラスルームを見に行っていたという視線的なものがあり、教室の数が足りないということがあるので。あと、予算的なものでいけば、そこがかなり大きいのかなと思っていますが。今のところ義務教育基金は2億7千万円くらいあるのですでしたか？。それを使えば、ほぼ校舎としてそんなに基金を積みまなくても建てられるという気がしているところです。できれば、いい学校を造ろうと。ちょうど令和5年の4月1日が新たな小学校の開校なんで、そうしたら、平成5年の4月1日が新中学校が開校したと。ちょうど、そういう時代が違って、その「5年4月1日」というのが同じになるみたいなんです。そこでいくと、まだ令和2年だから、まだ十分時間はあるし、議論して頂いて、そしてやっぱりいろんな形で、子ども達、親達が納得できる小学校にしたいと思います。1番後で大変になってくることが、各地区の行事となる調整が、意外に1番最後になると、大変にぶつかってくるんだかな、という思いは想定しています。今のうちから、案外スクールバスとか、バスを新たに買う、路線を増やす、ということ想定してそんな揉めていないとは思いますが。これからしっかり議論して、皆さん理解してもらってというのが大切だと思います。せっかく立ち上げて、各部会の皆さん頑張ってますし。ちなみに、私も新中学校の時、校歌制定委員長になって、あれは平成4年になってからだから、1年でやった。だから、今、校歌どうしよ、こうしよ、どうするって、すごい恵まれてるなと思いました。大変だけ。そういえば。1年位でたぶん、よくあれだけやれたなあと。私なんか、100年に1回だ。だって遊佐中って遊佐町からあれしかないんです。怖くてやれない。委員の皆様どうでしょうか。

町長 はい。教育長。

教育長 まず1点目。地域の遊佐行事がいろいろあるわけで、今、あのコミュニティースクールというのが動いてまして、今年度から社会教育法を使って、昨年度から地域学校文化活動推進委員、これをこの前任命しまして、研修会といいますか、やったわけですが、この中で出たのが高瀬小学校の件で、これはまず相撲大会で、あれは当然全部の学校ではないので、そしたら高瀬の場合は、地域学校協働推進員になっている。早速。訪問の問題をどうするか。地域の課題として、例えば、学校行事に関するはずだから、もう動いてくださっているという話を聞いて、ありがたいなと思って聞いていました。そういう意味では、コミュニティースクールをやって、地域学校等で子どもたちが、そのシステムが機能して、良さを発揮する時期かなという風にまあ。是非その役員が各地区で出て頂いて、自分の事として学校の見本となっていて、そういう風にしてまとめていって頂けるとありがたいなと思っていました。

2点目。教室の利活用について、給食室が若干、思ったより狭いって。そこに少し予算が絡んでくるかなと。逆に、中学校の給食室で800人の給食を作った実態があったわけで慌てる状況があったわけですが、その辺少し、これから予算が絡んで、ちょっと議論になってくるかなと。私は今、そのように現状を把握しております。

町長 小学校の建築、まあ増築っていう形ですか、計画さえしっかり持って、補助金申請をしっかりとしていれば、文科省はそれなりに補助金が県を通して、ちゃんをつくはずだが、意外に心配しなくていいかなと。要は、5億か6億の事業をやることができるのかですね。そう心配しなくてもいいのかなと。

町長 委員の皆様、よろしいでしょうか。

出席者 (「なし」の声あり)

町長 了解をいただいたということで。  
それでは(3)遊佐高校支援の会に関する件について、を議題とします。  
事務局より説明をお願いします。

事務局 <資料3に基づき説明>

町長 はい。ありがとうございます。去年は、九州の福岡と、それから関西の大阪と名古屋と、関東圏も行って、直接のプレゼンだったわけですがけれども、今年はオンラインでという形で変わったということです。山形県内では、まあ県外からという形で、今年は新たに小国高校と、山形北高校の音楽科が追加になったという形ですが、みらい留学のこのパンフレットには、遊佐高校しか載っていないという形です。やっぱり大変だなという思いと、今年は、去年の実績からして、プラスして同じくらい来てくれればいいわけでしょうけれども、やっぱり、それぞれの皆さんプレッシャーかけながら、遊佐高校支援の会もかなりやっぱり力入れて応援していかないと、と思っております。質問等について、この件についても、ご意見等ありましたら、よろしくをお願いします。

実は、私からちょっといいですか。岩手県の葛巻高校は、すでに卒業生が出ており、県外から来た人が、地元にもう就職しているという話を聞いたもんですから。遊佐高校支援の会で、1回研修行ってください。葛巻と盛岡と上が岩手町。それから途中、山の中なんですけれども、受け入れが成功しているんだって。成功例があるんだって。同じ東北で、コロナの心配がないところが、留学にいいなという気がしていたんですけれども、遊佐高校支援の会が決めることだから、まずお願いしかできないのですが。今年は遊佐高校支援の会の総会で、会長さんが代わらず村井さんからやってもらうことにしたので、サポートをよろしくをお願いします。

ところで、私からちょっと教育委員会に相談していいですか。遊佐高校支援の会から、寮を造ってくださいということでありましたが、今は、空き家の活用という形でやらせてもらっている。だって、町で、行政で、物を造るんだったら、やっぱり、計画を作って設計して、そして手順を踏まないと予算を立てられない。これ申し出があったのが3月でしたか？

教育課長 あれ、2月？3月？

事務局 寄宿舎の？

町長 そう寄宿舎の…3月だったな。あれ予算が全部できてからの話で、なかなか難しかったのですが、教育委員の皆様にもちょっと一言ずつお伺いしたい。まあ空き家を活用していくしかないのかなど。今すぐすぐ億のお金は出せないなという思いもあったのですが、いかがでしょうか。

渡邊委員 はい。では、あの、事務点検評価報告書の中でも、総務学事係の方から遊佐高校支援の会を通して、県外から入学していただいたということで、「男子と女子の寮の部分は課題ですよ。」と委員も言っております。今、町長からお話あって、遊佐高校の留学が県外から、どんなものかなど、やはり不安を持って来るわけですので、やはり日常生活が基盤ですから、しっかりと間違いなく、親元を離れて住めるんだということをしっかり見た時、遊佐に見に来た時に見せてあげられるような格好を作るのが大切です。ただ、どうなんでしょう。寮ってなった時、新しい建物になった時に。そうすると規則だとか、運営だとか、寮の管理人だとか、大変なコストもかかる。空き家ということで、学校からそう遠くないところで、それなりに不安を解消しながら、空き家を活用できるのであれば、まあ、もちろん、そこで生活する高校生の意見も大切ですけれども、私はそうやって地元民たちと一緒に交流しながら、ここで生活するのが、今のところはベストなのかなという感じはします。まあ、何不自由なく生活して欲しいってまでできなくても、ある程度不自由しての遊佐を体感できればいいのかなと思っております。

町長 石川さん。

石川委員 はい。私も同じ様に、新しく寮を造るよりは、空き家を活用して、今どれくらいまた生徒が増えるのかあったけれども、今現状で増やすのは、大変だと。そうすると、空き家がある程度整備しながら、そこは生活感があってもいいのではないかなど。だとすると、空き家活用に賛成です。

町長 石山さん。

石山委員 はい。県外からの人で遊佐高校を維持しなくても、学生に何かメリットあるのですか。経済面から見たとき、お金をかけて育ててやって、環境を整備して、その子たちがどうなるのか。そこら辺が、町の経済力があるんだったらそれでいいのですけれども。経済面からみれば、あまり良くない。空き家は多くてすごいのですが、株式会社遊佐町として考えてもらいたい。はい。以上です。

町長 齊藤さん。

齊藤委員 綺麗なところに、見える所に子どもを預けたいという気持ち。親御さんの気持ちもよくわかるのですけれど、あの駅伝のあの寮を見ると、寮母さん、監督の奥さんなんか、素晴らしく、こう、目配りして、手を下して、全部こう母親代わりにやったださる方が居ての寮だと思うのですね。もし、これから県外からの子ども達がたくさん増えて、その子達が同じ寮に入った時に、目が届かなくなったら、本当に元も子もないので、今みたいにこう、目が届く環境においてこそその遊佐の留学なのかなという気はします。なので。でもね、うちの娘が空き家を探した時には、無いんですよ。ほんと。空き家はあるのですが、貸してくださる方がいらっやらないというのは実情です。空き家バンクに登録している方も少ないですし、貸してくださる方もいないので。本当に空き家を探すのが大変だと思うのですけれども、あの寮を任せられる職員の方も大変なので、そういうのを危惧したら、考慮なさってください。

町長 はい。ありがとうございます。

教育長 私も委員の1人ですので一言。高校も3学年ありますので、1学年、まあ、20人位になるのでしょうか。来る方が。そうしてもらわないと、生徒が減っていく先を見れば、それでも足りなくなる。すごく来てほしいという時期が来ると思います。

町長 ありがとうございます。まず一応の思いが私もあって。まあ、ありがとうございます。こういう発言を頂きましたので、今後の参考にさせていただきます。

教育長 もう1点だけ。石山委員が言ったメリットの件で、若者がいる町と聞いたら、やっぱり経済効果はありますけれども、少年議会だって動いていますよ。凄く案を出して、しかも、地元はおじいちゃん、おばあちゃんのこれからの町だから、そういう意味合いも含めて、融合しながら声掛けをしてやっていく必要がある。

町長 という形で、この話のスタートは、東北公益文科大学の、今お辞めになった吉村学長から、「できれば遊佐高校の3年後で4年～7年間をここで育てる様な地区になったら凄いいね」と、吉村学長さんの提案だったんですよ。ただ、住まいの秋田から通ってくると、「遊佐って子育てをするいい場所だね」という提案を頂いて良かったと思いますので、県でもすごい英断で受け入れしてくださったということで、しっかり頑張ってください。

財政的に大分心配になりました。今、ところが、私が町長になって何年前だろう。この間、11億4千万円位しか税収が想定されなかった時があったのですが、今13億円半ば程での予算を想定しています。13億円を超すくらい、1億5千万以上の税収は増えているので。それから、今年はふるさと納

税が快調なんだそうです。遊佐高校支援の会は、ふるさと納税を使わせてもらいたいということで、宣言しておりました。今年は3ヶ月で1億、そんなもんだそうです。そんな形で去年の倍くらい増えています。3ヶ月で去年の倍。去年の3ヶ月では、8千万いっていなかった。今年は1億を超してしまったということです。まあ、なんとか。ご意見を頂いてありがとうございます。

他にご質問、ご意見等ございませんか。

出席者 （「なし」の声あり）

町長 それでは、これをもって質疑を終了いたします。

続きまして、（4）令和元年度教育委員会事務点検・評価報告書についてについて、を議題とします。事務局より説明をお願いします。

事務局 <資料に基づき説明>

町長 （4）の案件について説明いただきました。これについては、教育委員会独自の行政外部評価を頂いているという形であります。行政については、外部評価委員会がほぼまとまりそうです。やっぱり何回か皆様に出て頂いてまた新しい視点に立つてということで、大変期待しております。これについては教育委員会議で了解したということで皆様よろしいでしょうか。

他にご質問、ご意見等ございませんか。

出席者 （「なし」の声あり）

町長 それでは、これをもって質疑を終了いたします。

特にないようですが、レジメの方には、（5）その他とありますが、何か、ありますでしょうか。

事務局 特にありません。

町長 無いようですので、事務局にお戻しします。

教育課長 慎重審議、ありがとうございました。以上をもちまして、第1回遊佐町総合教育会議を閉会いたします。